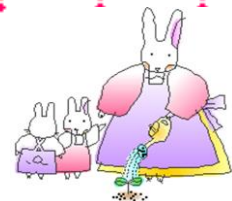


がん患者さんとご家族のための おしゃべりサロン

都立駒込病院
サロン便り No. 80
(2018年10月発行)



2018年9月14日に第87回“おしゃべりサロン”を開催しました。がん体験者3名（女性3名）家族1名（女性1名）合計4名の方が参加されました。今回は、おひとりおひとりの細やかなお話を聴くことが出来ました。ざっくばらんな分かち合いの中で、がんの種類や立場は違っても“がん”に関わる患者同士の気持ちを共有し、温かいサロンとなりました。



サロンのお約束を確認して始まりました。

- ①自分のことは自分の言葉で話すこと。
 - ②他の方のお話は、善し悪しを評価しないで最後まで聴くこと。
 - ③サロンでのお話はこの場限りにすること。SNSへの投稿、録音、写真撮影は禁止。
- 以上の3点をお願いしました。

○がん患者の3年生存率が発表されたが、数値を見て、がん患者以外の方が「がんになっても意外と大丈夫なんだ」と思ってもらうための数字のような気がする。

○かなり若いころにがん保険に入った。若かったので掛け金は安かったが、まさか使うとは思っていなかった。実際がんになった時、とても助かった。

○毎年同じ検査を続けることで、異常、もしくは異常がないことがわかるので、検診を続けていくことは大切だと感じた。

○「リンパ浮腫になったことが、がんの告知を受けた時より辛い」というその気持ちは、何年か経つうちにだんだん良い方向に変わっていくと思う。

○「命が助かったのだからいいじゃない」という周囲からの言葉に傷ついた。手術だけでなく、その後の治療や副作用などの方が、期間が長く生活していく上ではとても大変。

○入院中に体力が低下してしまったが、散歩をしたりスクワットをしたりして頑張った。

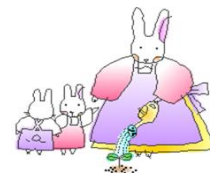
○ストーマ(人工肛門)は自分の体に合わせてきちんと測って作っているのだから、太らないように指示された。キノコ類は食べても消化されないのだから注意されるが、あとはあまり気にしないで食べている。

○入院中ストーマの使用方法を説明されたが、研修医と一緒にしてくれたので心強かった。

○このサロンは、少人数でアットホームな感じがするところが良いと思う。

体験や想いを分かち合った内容を、ごく一部ですがご紹介させていただきました。次回もスタッフ一同、皆様の参加を心よりお待ちしております。

次回・次々回のご案内



- 日時：毎月・第2金曜日（13時～15時）
2018年11月 9日（金）
2018年12月14日（金）
 - 場所：都立駒込病院 本館3階
患者サロン(中央エレベーター横)
 - 対象：主にがん患者さん・ご家族
どちらの医療機関に掛かっている方も参加出来ます。
- * 予約はいりません / 参加費は無料です